



タブレット端末で板書しよう

機能の使い方

先生が「共同閲覧モード」で課題を配布すると、生徒は「先生メモ」を閲覧できるようになります。「先生メモ」を開くように生徒へ指示した後、先生は「先生メモ」に板書や解説を書き込みます。書かれた内容が反映されるのを、生徒はリアルタイムで見ることができます。休校時などのオンライン授業や、対面授業における黒板代わりに、スクールタクトを活用できます。

【使用する機能】先生メモ コメント

●中学2年生・国語 「助動詞の識別」

助動詞「ない」の識別を学びます。生徒は、文中の「ない」を「ぬ」に置き換えた際に、意味が通る場合は助動詞、通らない場合は形容詞(の一部)であることを学習します。導入部分の解説において、スクールタクトの「先生メモ」を使用することで、生徒は先生が板書する様子を端末上で見られるようになります。生徒は「先生メモ」のコメント欄で先生に質問できるため、先生の説明の流れを止めることなく、授業を進められるようになります。対面授業はもちろん、オンライン授業でも効果を発揮する、スクールタクトの活用法です。

	学 習 内 容	使用する機能
導入 10分	○助動詞「ない」についての説明 ○助動詞「ない」の識別の説明 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 問 次の各文の「ない」のうち、助動詞はどちらか答えなさい。 </div> *事前に用意した課題を、共同閲覧モードで配布する	課題配布 先生メモ
展開 30分	○「ない」の識別に関する演習問題を解く ○解説を行う *生徒は、お互いのキャンバス画面に書いた解答を見合いながら解説を聞く	
まとめ 10分	○本時の学習内容についてまとめる	

先生メモの効果的な使い方

オンライン授業で先生が板書を画面共有する場合、生徒は先生の投影画面を見ることはできません。自分の操作画面を見るためには、表示されるウィンドウを複数扱う必要があります。

スクールタクトを使うことで、生徒は「先生メモ」を開きながら先生の話聞きつつ、自分のキャンバスに表示を適宜切り替えてメモを取れます。また、先生メモの内容が自動的に残るので、授業後の振り返りにも効果的です。

